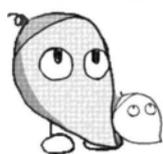
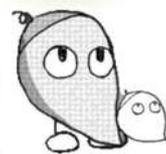


# とんがらし通信

大型バスに乗っています♪  
バスにゆられてさびしまでも!



## No.232



### ～主な内容～

- ・施設長コラム ・イオン節分イベント
- ・ピュアハーツアート展銅賞受賞!
- ・活動報告(新幹線、アプリへ行こう、親子クッキング、ロビーコンサート)
- ・研修報告 ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室  
発行責任者 山口 収  
発行日 2018年3月25日  
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16  
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752  
E-mail [sendai@tsudoinoie.or.jp](mailto:sendai@tsudoinoie.or.jp)  
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



## いまこそ、人間の尊厳を守れるか の巻

以前、このコラムでハンセン病の元患者さんたちの理不尽な偏見・差別とその闘いの歴史を書きましたが、それにつながるような出来事が全国各地で沸き起こっています。『旧優生保護法の下で不妊手術を強要され、一方的に尊厳を奪われた』として今年1月30日、宮城県に住む60代の女性が国を相手取り謝罪と補償を求める全国初の訴訟を起こしたのです。その後全国で続々と提訴の波が広がりつつあります。訴えを起こした方は、しょうがいがあるゆえにどうしても発する力が弱く、長いこと苦しみ耐えてきたことと思います。その末の今回の提訴はとても意味のあることだと思うのです。現時点で国は『当時は適法』との姿勢を崩していません。

旧優生保護法は、ナチスドイツの『断種法』の思想を汲んだ『国民優生法』を前身とする法律です。『不良な子孫の出生防止』という観点から昭和23年に施行され、実に50年近くの長きにわたりしょうがいのある人やハンセン病の元患者らを苦しめてきました。『しょうがい者差別にあたる』として改正されたのはつい最近、平成8年のことでした。もともと『遺伝性疾患などがある場合に本人や配偶者の同意を得て不妊手術を行う』ことを定めていましたが、知的しょうがいや精神疾患などを理由に手術が必要と判断した医師が、都道府県の審査会に申請し『手術相当』とされれば、本人の同意なく強制手術を認めていました。

昭和6年に施行された『らい予防法』によるハンセン病患者の『無らい県運動』『療養所強制収容』と同様、国は国策として『不妊手術』を進めてきました。その結果、全国で約8万4千人の方が手術を受けることとなり、そのうちの1万6千人余りが本人の同意なく手術を受けさせられています。

各都道府県は競うように手術を重ねました。宮城県では結婚から出産までの注意事項が記された家庭向け冊子『よい子を生み育てるために』が昭和46年に発行され、その中の『不幸な子どもの発生数』というページでは、県内での出生数全体の5分の1が『望ましくない子ども』と指摘されています。兵庫県では昭和41年から47年にかけて『不幸な子どもの生まれない県民運動』が県の施策として進められてきました。当時の兵庫県知事は『しあわせを求めて』というタイトルで次のような文章を発表しています。【ひとりで食べることも 歩くこともできない しあわせうすい子どもが さみしく毎日を送っています 「不幸な子どもだけは生まれないでほしい」 母親の素朴な祈り それは幸せを求める みんなの願いでもあるのです あすの明るい暮らしを創造するために 「不幸な子どもの生まれない施策」を みんなで真剣に 進めてまいりましょう】さらに北海道では『優生手術（強制）千件突破を願みて』という記念誌まで発行されていました。各自治体がさまざまな手法で正当性を訴えて手術数を競う背景には、当時の厚生省による都道府県への強い働きかけがあったとされています。厚生省は予算を上回る実績確保に躍りになっていました。ほんの20数年前まで国が確信をもって国民に『優生思想』を植え付けていたことに恐怖と怒りを覚えます。

人類に限らず、生命はその進化の歴史の中では少なからず遺伝子の突然変異などにより疾患やしょうがいが発生するのが自然の摂理です。その中で生まれてきた命に優劣をつけること自体が不自然なことに思います。優生思想のはびこる社会では、経済的な成長はあるいは見られるかもしれませんが、人と人との緩やかなつながりのある豊かな社会は醸成されないと思います。

国は『しょうがいの有無や年齢や経済的境遇に関わりなく、だれもが共に生きることのできる社会を目指していく』として『共生社会の実現』をひとつの大きな柱として打ち出しています。この理念はとても正しいことなのだと思います。しかし、一人ひとりが大切にされている実感を持たない環境の中では、ただの絵に描いた餅です。『しょうがい』や『老い』を個人に帰属するものとして、本人や家族に責任を押し付け続ける現在の状況を転換しない限り、本当の意味での共生社会は訪れないのではないのでしょうか。この裁判はそういう意味でも国の姿勢が問われる重要なものだと思います。今後の行方を注視していく必要があります。 （管理者 山口 収）

# ピュアハーツアート展 入賞

1月26日から5日間、第21回目知的障がい者の芸術展「ピュアハーツアート展」が開催され、菊地愛子さんが書道・写真・その他の部で、見事銅賞に輝きました！今回はそんな愛子さんの気持ちを伺わせて頂きました。今後も愛子さんの表現力、着眼点を生かして良い作品を沢山の方に見てもらえるよう頑張っていこうと話しました。（記：鈴木）

私はピュアハーツアート展で入賞した時、ものすごくびっくりしました。メディアテークで表彰状を受け取る時、心がドキドキしました。アート展の作品は古川の醸室（かむろ）で撮った『古の道』という作品になっています。私は嬉しくてバンザイしました。その事は、つどいの家のHPにもものっています。「何年ぶりの入賞だなあ」って思い、嬉しくて何回もつどいの家のHPを見ました。私は日帰りで丸森の西洋館を見に行った時、目がキラキラして写真を撮りました。私はレトロな下町とか西洋館がとても好きで、思わず魅力にひかれます。これからも写真撮影に腕を上げます。「嬉しいこと、楽しいこと、それが人生のよろこび。人生のよろこびは、心のエネルギーだよ！！」（記：菊地愛子）



## ～イオン幸町店との合同企画～

# 「オニ達はどこに行った??」



やってきました『まめまき』の季節。『今年もイオン幸町店さんと合同イベントを行いたいな～!』と思っていた時に、4年連続となる吉報が入ってきました。「また、今年も節分合同レクリエーションをしましょう」というお話でした。利用者さん・職員一同大喜びです。

今年はちょっと一味違う趣向になりました。毎年、創作を中心として鬼の面作りを社員さんと利用者さんで行うのですが、今年は活動の中で先に鬼の面を作り、それを8分割したものを前日の夜に施設長が館内に隠して、当日社員さんと一緒に「鬼の面探しゲーム」をやりました。

よ～いドン!!の掛け声で利用者さん、社員さん達は必至になって鬼探し。一番最初に鬼の面を完成させたグループに優勝賞品が出ると聞き、みんな目の色が変わります！！これまでにないくらいの盛り上がりで、次々とお面が完成していきました。結果、さんしょグループの優勝でジュースが贈呈され、あっという間にレクリエーションの時間が終了となりました。みんな汗だくで、忘れられない笑顔に包まれた合同イベントでした。有り難いことに今年もイオン幸町店さんから、創作に使う文房具や物品、豆まき用の豆などをご提供頂きました。イオン幸町店のみなさんには大変お世話になり、最高の地域交流となりました。また、機会があれば是非一緒に合同イベントしたいと思います。本当に有難うございました。（記：有住）



# 「サポート研」研修報告

新宿で毎年行われている全国障害者生活支援研究セミナー（サポート研）に参加してきました。

1日目、基調講演として『「共生社会」を考える～本人中心の視点から～』と題してDPI日本会議副議長をされている尾上浩二さんによる講話がありました。国が考えている「共生社会」について、自身の体験を交え分かりやすく講話いただきました。午後は『ごちゃまぜトーク～現場が創る共生社会とは？』というテーマで、ベテスタの家の中西さん、本人会サンフラワーの奈良崎さん、つどいの家の下郡山理事長3名によるパネルディスカッションが行われました。奈良崎さんは「本人が求めているのは表面上の支援ではなく、人と人としてのつながりであり、真摯に向き合ってほしい」という願いを話されていたのが印象的で、支援者として耳の痛い話でした。中西さんからは実践から読み解く共生社会について、下郡山理事長からは市民活動から今に至る『必要なものを作り出してきた思い』についての話がありました。

2日目は、4分科会に分かれて行われました。私は、第1分科会で実践発表をさせていただきました。仙台つどいの家で日頃行っている活動や支援について発表し、後半「すてーじ」を観て頂きました。分科会参加者の方から「相模原事件の犯人が、事件前にすてーじを観ていたらこの事件は起きなかったかもしれない」という感想を頂き、日々、悩みながら、模索しながら活動している私達も「本人の思いに寄り添い続けること」は間違っていないのだと感ずることができました。

最後に、中西さんが話していた言葉をご紹介します。  
「目の前の制度にとらわれて国の想定している大きな流れにいつの間にか巻き込まれていないようにアンテナを張らなければならない」

（記：佐々木）



当日のお昼ごはん！

## ポジショニング研修

マットに横になって過ごすのは本当に楽な姿勢なのか？床にマットを敷いて利用者が休むことによるリスクや、床からの移乗での職員の介護負担について改めて考えよう、そして、当事者の方にも話を伺いたいということで、今回の研修が決まりました。

事前に看護師の早坂さんに仰臥位等の各ポジショニングの利点、欠点分かる資料を作っていたいただき、1月29日にしょうがい当事者の宮川智道さんにご自分の一日の生活の様子を話していただきました。そこで伺ったことを基に後日グループで話し合いを行いました。

グループの話し合いでも「車椅子に座っている状態のまま日中過ごしてよいのか？」「本人に負担があるのではないか？」「動きのある利用者が躓いて転んだ時に床で横になっている本人たちを守れるか？」等様々な意見が出ました。話し合いを重ねる中で、『横になる方はベッドなどの高い場所でストレッチなどを行う』、『床に降りて横になる場合でも、必ず職員がついて安全を守る』、『移乗の際も利用者によっては一人で行うのではなく二人で行う』ことを心掛けようと話がまとまり、改めてリスクについて再認識することが出来ました。まだ、不完全ではありますが、これからも利用者、職員共に安全安心な支援が出来るようにしていきたいと感じた研修でした。

（記：志藤）

# 正司ボランティアさん ☆ありがとうございました☆

長年にわたり、ボランティアとして仙台つどいの家を支えてくださった佐藤正司(さとうしょうじ)さんが、3月をもってボランティア活動をお辞めになることになりました。佐藤さんは仙台つどいの家が南光台にあった時から17年近くもの間、となりでサポートして下さる大切な存在として、利用者みなさんも頼りにしている存在でした。17年前、仙台つどいの家に来て頂いた時には、「なたね」という作業活動を行っていたグループに入ってもらっていました。

工作やアート活動が得意で、利用者とともにいろいろなものを作ってくれました。それは今も続いていて、今年は職員体制も少なく…佐藤さんがボランティアにいらっしゃる日には、活動の幅が広がりました。

定期的なボランティアは終わりますが、また遊びに来てもらえればうれしいです(^)/

長い間本当にありがとうございました。(記：佐々木)



## 【 職員コラム 】 さとう かずひと 佐藤 和仁さん (もみじ職員)



### ピカピカの1年生♪

まもなく春ですね(^o^). 春と言えば、卒業と入学、送別と歓迎のシーズンです!

私の子ども(長女)が4月から小学校入学になります。早いもので、生まれてから6年が経ち、あっという間に大きく成長しました。初めての子どもとあって、何をすることも親も初めてのことだらけ(+\_+), 楽しいこと、嬉しいこと、悩んだこと、辛いこと…沢山ありましたが、人見知りでもとても泣き虫だった子どもが、今では友達と仲良く笑顔で遊んでいる姿を見ると、親として嬉しくなります。3月で保育所を卒園して、4月から小学校入学。子どもは今から気持ちワクワク♪で、「ともだちになるために」「いちねんせいになったら」の歌を毎日歌って楽しみにしているようです。友達100人できるとイイね(^\_^) これからの小学校生活でどんなドラマがあるのか、親もワクワク、ドキドキです。

今後、子どもが大きくなり小学校、中学校、高校の入学、卒業がやってきます。私は涙もろいので、卒業式では何度も号泣すると思います・・・ それも楽しみです(^o^)

先日、「子どもの成長は早いね!」と妻に話したら、「成長しないのは、アナタだけだよ!」言われてしまいました…(>\_<) 私も子どもに負けないように、もっと立派な、素敵な大人になれるように頑張ります! 皆さん応援よろしくお祈いします(^o^)/

(記：佐藤和)

# 仙台⇄宇都宮 新幹線の旅



今回の外出活動は「新幹線に乗ってみたい!」という、もみじグループの松田翠さん、斎藤慎一さんの発信で実現しました。新幹線に乗る経験はもちろん、美味しいランチも楽しみたいね〜!と本人とじっくり話し合い、宇都宮に旅先を設定しました。



当日は晴天に恵まれ、絶好の旅日和となりました。みどりの窓口で切符を購入して早速ホームへ。新幹線が動きだすと、慎一さんは「あはは!」と大笑い!翠さんも少しずつ表情が柔らかくなり、手を叩いて車窓からの景色を楽しんでいました。宇都宮はポカポカ陽気で、暑いと感じる程でした。宇都宮の名店「健太餃子」さんでランチタイムです♪水餃子、揚げ餃子、焼き餃子などを堪能しました。パクパクと食べ進める2人に「そんなに食べて大丈夫?!」と職員もびっくり(笑)。とても美味しくいただきました。



餃子やお菓子をおみやげに購入し、思い出いっぱい仙台に帰ってきました。帰りの車内も2人はにこにこ!(\*^^\*)「新幹線に乗れて良かったね〜!」と、お迎えに来たお母さんもとても嬉しそうでした。本人と一緒に計画を立て、実現することの大切さや楽しさを改めて感じた1日でした。さて、次はどこに出掛けましょうか?(記:伊達)

## アプリへ行こう!!ネイルで春を先取り♪

さんしょグループでは、定期的におしゃれ活動を行い、美しさに磨きをかけています。中でも後藤彩也佳さんはおしゃれが好きで、ネイルをしてみんなに褒めてもらおうと、とっても嬉しそうな表情をします。色白で長い指にきれいな爪♪ネイルがとっても映えるんです。そんな中、昨年、つどいの家・アプリのミントグループとの交流会で、大越桂さんもおしゃれが好きで素敵なネイルをしていることを知りました。「ぜひ今度一緒にネイルしましょうね」と彩也佳さんと桂さんとで約束をしていました。



桜咲く春が待ち遠しい今日この頃…爪先から春を先取りしよう!!ということで、3月2日に後藤彩也佳さんと早川奈津子さんとつどいの家・アプリに行き、桂さんと一緒にネイル活動をしてきました。彩也佳さんは、ピンク色のマニキュアを塗り、白い花柄のネイルシールを貼り、仕上げには、桂さんに貸してもらったラメ入りのマニキュアを塗りました。とってもゴージャスで、一足先に春が来たようにとっても素敵でした。桂さんも、にぎやかな雰囲気ニコニコと嬉しそうにされていました。他のメンバーや職員たちからも「かわいいね」と褒められ、彩也佳さんも桂さんもとても嬉しそうでした。



「今度は本当のネイルサロンに行きましょうね!」とお話してから仙台つどいの家へ帰ってきました。事業所を超えた同じ楽しみを持つ友達ができ、嬉しそうな彩也佳さん。次はネイルサロンへ行くことが目標です。お手頃価格でネイルしてくれるお店大募集中です。ご連絡は仙台つどいの家022-293-3751まで♪(記:佐藤唯)

# めいぶる親子クッキング 「ひなまつりパンづくり」♪



3月3日にパン工房めいぶるにて「ひなまつりパン」作りを開催しました♪今回は、開催日がひなまつり当日だったこともあり、「ひなまつりパン」とデザートに「いちごのトライフル」を作りました！申し込み多数で6組の親子が参加してくださり、工房のなかはとても賑やかな雰囲気です。

「ひなまつりパン」は生地にあんこやチョコを包むところからスタート！お母さんがやっているのを見ながら子どもたちも真似して包んでいきます。皆さんとても上手です。生地の発酵を待つ間にいちごのトライフルのデザートづくり。包丁を姉妹で一緒に持ってバナナを切る姿があったり、「いつもおうちのお手伝いしているよ！」と話しながら上手にカステラを切ったりする子どもたち。皆さんの話を聞いていて私もとても楽しい気持ちになりました。



デザートづくりが終わると、いよいよメインのひなまつりパンの顔を書く作業！！表情が凛々しいお内裏さま、ほっこりする顔のお雛さま…みなさん上手に自分なりの顔を書いており個性豊かなひなまつりパンができあがりしました。できたパンは利用者の方も一緒に食べ最後にみんなで記念撮影をしました！アンケートにはひなまつりのいい思い出になった、楽しかったという声もありとても楽しいクッキングでした！また次年度もご参加お待ちしております。

(記：高野)

## 県民ロビーコンサートに行ってきました～♪

2月28日に宮城県庁舎内にて行われた県民ロビーコンサートに行ってきました。今回出演はクワイアチャイム音楽広場（宮城県障害者福祉センター）の皆さん。クワイアチャイムとは、音をつなぎ重なるハンドベルの仲間だそうです。演奏は「北の国から」から始まり、「荒城の月」、「見上げてごらん夜の星を」など有名な曲が多く、クワイアチャイムの優しい音色にうっとりでした。利用者さんの一人は



演奏者と同じ様に右腕を振ってニコニコご機嫌でした。特に利用者さんに好評だったのはAKB48の「ヘビーローテーション」。車椅子の利用者さんは胸をトントン叩いたり、両手を上げ下げして喜びを表現していました。

演奏終了後は、県庁2Fカフェテリア「けやき」でみんなでワイワイ食事し、その後18階の展望台に行きました。外の景色を眺めたり、椅子に座っておしゃべりしたり、県政広報展示室を見学したりと各々有意義な時間を過ごしました。今から次の県民ロビーコンサートが待ち遠しいですね♪

(記：櫻井)





## スケジュール schedule

## 4月

- 2日(月) 辞令交付式、全体職員会議
- 10日(火) ケース会議 13:30 降所
- 11日(水) チーフ会議、無線訓練
- 12日(木) 音楽療法①
- 18日(水) 職員会議
- 19日(木) 音楽療法②
- 20日(金) 施設懇談会
- 26日(木) ケース会議 13:30 降所
- 30日(月) 振り替え休日

## 5月

- 3日(木) 憲法記念日
- 4日(金) みどりの日
- 8日(火) ガレージセール①
- 10日(木) 音楽療法①
- 11日(金) チーフ会議、無線訓練
- 17日(木) 職員会議
- 21日(月) 施設懇談会
- 24日(木) 音楽療法②
- 25日(金) ケース会議 13:30 降所
- 29日(火) 内部研修

## ご協力ありがとうございます

## ボランティアとして協力して頂いた皆様

(1月15日～3月14日まで)

吉田さん、シルビアさん、寺元さん、正司さん、京子さん

## 見学・来訪者など

生け花：濱谷さん、音楽療法：向井田さん・菊池さん、アロマゆるっと、宮城学院女子大学(木村さん)、グループホームよもぎ埜(蒲生さん・バザー物品提供)、宮川智道さん、河北新報(橋本智子さん)、BBモフランさん、多々良さん、イオン幸町店の職員の方々6名、すてっぷはうす実習(齋藤さん)、穴戸さん、村越さん(バザー物品提供)、コスモスヘルパーステーション(千葉さん、土屋さん、松崎さん、月田さん)、大崎ひまわり訪看宮城野サテライト(新妻さん)、宮城教育大学(菅井先生)、宮城盲ろう児者友の会(阿部さん)、松尾けんこうクリニック(松尾先生)、加賀谷さん・千田さん(レスパイト連協事務局会議)、伊藤あすみさん(ボランティア希望)、山崎さん、共栄防災、シャープドキュメント 21 ヨシダ、マルゼン、東京サラヤ、今庄青果、マルキ水産、マルイ、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、バイタルネット、大気堂(太田さん)、ニッサンサティオ宮城(村上さん)、ホシザキ東北、日本テクノ、七十七銀行、積水ホームテクノ(株)、エコラボホーム(デムラさん)、日通商事、

法人職員：理事長、児玉、今野、佐伯、檜山、加藤(裕)、後藤、加藤(彩)、小野(麻)、他多数

(以上、ご芳名順不同)

## 缶回収

12月 1月2月3月の納品

合計 6,730 円でした。

ご協力有難うございました。



## 編集後記

『地域というかけうどんに投じられた七味のように、ほんの少しピリリとした、刺激を与えながら、なくてはならない存在でありたい…』という願いが『とんがらし通信』の由来となっております。今年度、最後の発行となりましたが、今年1年皆様の心に残る1ページはありましたでしょうか。次年度も、皆様に仙台つどいの家のことを知ってもらおうべく、ピリリと刺激のある、とんがらし通信をお届けいたしますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします!(^^)!(庄子)

福島応援

仙台つどいの家×ふくしま 同時応援企画！

## 特産品販売のお知らせ



いつも仙台つどいの家を応援いただき、ありがとうございます。

仙台つどいの家は『どんなに重いしょうがいのある人も、地域社会で差別されることなく、いきいきと自立した生活ができるよう、自己実現の場を保障し支援する』という法人の理念を実践するために、日々地域のみなさんとのつながりを基本に活動を行なっています。しょうがいのある方が自分らしく生活することがあたりまえにできる街を、一方通行ではなく地域の方とともに作っていくことが大切だと考えているからです。

しかしながら、重いしょうがいのある方がその人らしく生活していくことを保障するためには、多くの人出と資金がかかるのも現実です。

今回は、震災から7年が経過したにもかかわらず、避難指示や居住制限による人口流出のために復興もままならない『福島』を同時に応援しようと、福島の特産品をご用意しました。この機会にぜひ、ご購入くださいますようお願いいたします。

### 【仙台つどいの家×ふくしま 同時応援セット】



仙台つどいの家×ふくしま応援価格  
1セット3,000円(税込)

#### 【セット内容】

- ・会津天宝こうじみそ 1kg
- ・焼きのり(主に宮城県産)全形6枚
- ・しその実入りのり佃煮 200g
- ・昔ながらのしょっぱい梅干し 500g
- ・相馬からみ漬けスライス 180g

福島県内より取り揃えました。『ほんとうの空がある』ふくしまの味をぜひお楽しみください。なお、仕入れ状況により上記セットと異なる組み合わせになる場合がございますのであしからずご了承ください。

ご注文方法 : 添付の『注文書』に氏名、郵便番号、住所、電話番号、数量、お届け先をご記入の上、各事業所まで直接持参またはFAXにてご注文ください。

お支払方法 : ご注文の際に現金にてお支払いをお願いいたします。遠方の方はFAXにてご注文を受け付け次第、振込用紙を郵送いたしますので、銀行振り込みにてお支払いください(手数料はご負担ください)。また、宅配の場合は別途送料がかかりますので、お間違いのないようお願いいたします。

#### 送料(ゆうパック)

宮城県内	690円
東北(青森・岩手・秋田・山形・福島)、関東甲信越(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・長野)	740円
北海道、北陸(富山・石川・福井)、東海(静岡・愛知・岐阜・三重)	840円
近畿(奈良・滋賀・京都・大阪・兵庫・和歌山)	970円
中国(岡山・広島・鳥取・島根・山口)、四国(徳島・香川・愛媛・高知)	1,070円
九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)	1,290円
沖縄	1,400円

ご注文・お問合せは・・・仙台つどいの家職員の会(山口)  
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16  
TEL022-293-3751 FAX022-293-3752  
e-mail o-yamaguchi@tsudoinoie.or.jp

### 仙台つどいの家×ふくしま応援セット注文書

ご注文者	〒	—	電話番号	—	—	領収書 要・不要 備考
	ご住所					
	お名前					

お届け先1	〒	—	電話番号	—	—	事務局記入欄
	ご住所					受付番号
	お名前		注文数量_____セット			照合

お届け先2	〒	—	電話番号	—	—	事務局記入欄
	ご住所					受付番号
	お名前		注文数量_____セット			照合

お届け先3	〒	—	電話番号	—	—	事務局記入欄
	ご住所					受付番号
	お名前		注文数量_____セット			照合

お届け先4	〒	—	電話番号	—	—	事務局記入欄
	ご住所					受付番号
	お名前		注文数量_____セット			照合

お届け先5	〒	—	電話番号	—	—	事務局記入欄
	ご住所					受付番号
	お名前		注文数量_____セット			照合